

ガイダンス施設（新博物館）整備基本計画の進め方について

1 計画の概要

特別史跡加曾利貝塚グランドデザインに基づき、小倉浄化センター跡地に新たに整備するガイダンス施設（新博物館）の活動方針や事業活動、展示や施設配置等に関する事項について、基本計画を策定する。

2 前提条件の整理

(1) 想定される機能

特別史跡加曾利貝塚グランドデザインにおいて示した博物館の基本的な機能に加え、史跡や公園の管理を担う機能を付加することとしたい。また、併せて対岸の加曾利貝塚が俯瞰できる展望台や、ミュージアムショップなどの観光的要素も取り入れることとしたい。

(2) 補助金の活用

新たなガイダンス施設（新博物館）は、国の補助金を可能な限り活用して、建設していくこととしたい。

3 ガイダンス施設（新博物館）基本計画の構成案

平成31年度は専門業者に一部業務を委託しながら、概ね下記の構成でガイダンス施設（新博物館）の基本計画を検討する。

特別史跡加曾利貝塚ガイダンス施設基本計画

1 基本理念・活動方針

- ・基本理念や使命などの他、ガイダンス施設の位置付けや活動方針を提示

2 事業活動計画

- ・市内関連施設（郷土博物館、埋蔵文化財調査センター等）との機能分担等を整理し、具体的な事業活動や導入する機能を提示

3 展示計画

- ・展示の展開方針やテーマ構成・ゾーン構成等を検討し、展示手法・空間演出手法や動線等を提示

4 施設計画

- ・想定される年間入館者数を基に、駐車場や諸室の規模を検討し、来館者動線や運営のための合理的な動線を踏まえた配置計画を提示
- ・環境や景観に配慮した施設整備の方針を検討し、史跡との連携や駐車場整備を含めた敷地全体の利用計画を提示

5 管理運営計画

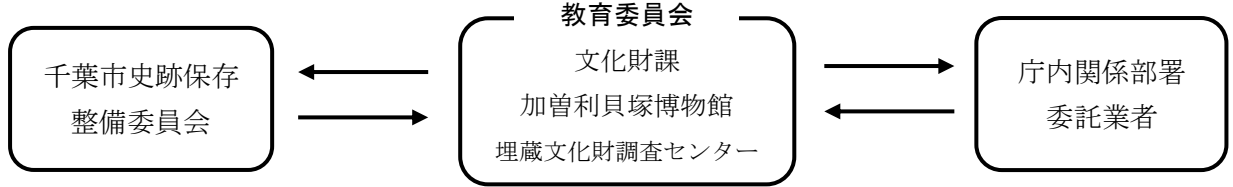
- ・管理運営方式や組織体制、開館形態（開館日時・利用料金等）の方向性を検討し、民間活力導入手法を含め、複数の整備・運営スキームを提示
- ・遺跡全体の管理運営のあり方やサポート体制（市民団体・ボランティア団体等）を検討し、方向性を提示

6 今後の事業推進に向けて

- ・ガイダンス施設（新博物館）建設に向けた課題や概算事業費・整備スケジュールを提示

4 検討体制

文化財課を主体とする教育委員会を中心に、庁内関係部署や委託業者と協力してガイドランス施設（新博物館）基本計画の素案を作成する。千葉市史跡保存整備委員会には、素案の中間報告等を行い意見を反映して修正し、計画策定に向けた答申を得る。



5 策定スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ガイドランス施設基本計画発注			業務期間								
	★ 委員会(1)				★ 委員会(2)	● ワークショップ(1)			● ワークショップ(2)		★ 委員会(3)